事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。 「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	<u>'</u>	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	エ夫している点、課題や改善すべき点など エ夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			□利用者の人数や年齢、特性に応じて、活動場所を決定しています。 狭すぎる、広すぎることがないよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			□基準人員(子ども10名に対し児童指導員2名以上)に加え、 サポーターさんを配置しており、安全に活動できる体制を 整えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	6			□車いす利用者や身体障がいの方も利用しやすいよう、 多目的トイレやエレベーター、更衣室も広く設定しています。 □発達特性のあるお子様にも動線がわかりやすいよう、 視覚的に提示しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			□事業所全体でのMTGを行い、振り返りを行い、良かったこと、改善点を確認しています。一方で、勤務日などの調整が難しく、個々や少人数での振り返りの日もあり、工夫が必要であると感じています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		□例年、評価表アンケートを行い、公表しています。また、今後の活動 プログラムを考えるための事業所独自のアンケートも行いました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			□毎年ホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか	2	4		□外部講師が来てくれた際や相談員さんが見学にいらした際には、 子どもたちに対する支援について、客観的に見た視点からアドバイスを もらうことがあります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	6			□運動療育がメインとなっていますので、安全に活動するための、 補助の仕方などの研修も行っています。 □虐待防止委員会などの設置に伴い、担当者が研修に参加し、そこで 得た情報を職員に伝えています。 □事業継続力強化計画セミナーに参加しました。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	6			□子どもの好きなこと得意なこと、苦手なことを職員間で話をしながら 分析し、保護者とのお話(ニーズ)をふまえた上で、個別支援計画を 作成しています。 □子どもの得意なことを伸ばせるよう、ポジティブな面に目を向けるよう 意識しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、 標準化されたアセスメントツールを使用して いるか	5	1		□事業所独自のツールを使用していますが、もう少し子どもたちの成長や 今後の課題がわかりやすいツールが必要であると感じています。
適切なす	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			□毎月、事業所でMTGを行い、プログラムを設定しています。曜日に よって担当スタッフが立案し、全体でブラッシュアップしています。
支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	6			□子どもたちの「やりたい」「楽しい」を大切に、さまざまなプログラムを 取り入れることができるよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	6			□休日はおでかけプログラムなど、平日にはなかなかチャレンジできない プログラムを設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計 画を作成しているか	6			□子どもの様子を見ながら、適した活動を組み立てています。集団での 活動にこだわらず、いまその子どもにとってより良い形(個別活動)など を考えながら、支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担について 確認しているか	6			□毎日、活動前には事前に作成した資料をもとに、必ずミーティングを 行っています。送迎の確認や、活動内容、担当児童についてしっかり 情報共有しています。

適	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有しているか	4	2		□平日は支援終了後の時間が遅いこともあり、当日の振り返りを毎回行う ことはできていませんが、必要に応じて話し合いを行っています。当日 振り返りができなかったことに関しては、再度ミーティングの日程を 決め、そこで振り返りをするようにしています。
切な支	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2		□役割分担をしながら記録を取るように心がけています。
援の提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断してい るか	6			□半年に一度のモニタリングは必ず行い、支援計画の見直しについて、 事業所内、保護者とも検討し、判断しています。
1#	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っているか	6			□子どもの特性や保護者の二ーズに応じて、運動だけではなく、創作活動や おでかけ、イベントなどを行い、成功体験を積んでいけるよう支援を行っ ています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわし い者が参画しているか	6			□ソーシャルワーカーや児童指導員など、子どもに合わせて、 参加する職員を決定しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の 交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調 整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか	6			□担当者会議や送迎時に学校の先生とも情報共有をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい るか		6		□医療的ケアが必要なお子様の受け入れが現在はありません。
関係機	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定 こども園、児童発達支援事業所等との間で情 報共有と相互理解に努めているか	6			□就学時の引継ぎ会などに参加し、保育園での様子や小学校入学後に ついての情報共有を行っています。
機関や保	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		□高校卒業時の引継ぎ会に参加し、放課後等デイサービスでの様子を、 就労支援事業所などにお伝えしてます。
護者	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		□あまり機会をつくることはできていませんが、今後連携しながら、 助言を受けたいと考えています。
との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			□イベントを開催し、障害のある子どももない子どもも一緒に楽しめる 機会を提供しています。 □フットサル大会にも出場し、障害のない子どもたちとも交流を図っています。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		3	3	□機会があれば、参加したいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	6			□送迎時やLINEにて活動の様子をお伝えしていますが、不十分な面もあるかと 思います。こまめに共有しながら、丁寧な支援につなげていけるよう、まだまだ 改善が必要だと感じています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4		□ペアレントトレーニングとしての開催はしていませんが、 モニタリングやイベントの際に、保護者のニーズを確認しながら、 必要に応じたアドバイスを行っています。
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	5	1		□契約時に説明を行っています。
護者への	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている か	6			□相談があったときには、丁寧にお話を聞き、お応えできるよう努めています。 まだまだ、知識不足な面もあり、子どもたちとともに成長していく必要があると 感じます。
説明責	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか	6			□保護者も参加できるイベントを企画し、交流の機会につなげていけるよう工夫 しています。運動だけではなく、お食事会やアートイベントなど、いろいろな人 が参加しやすいものを企画しています。
任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか	5	1		□子どもや保護者から相談があった場合には、速やかに対応するようにしています。

保護者	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		□新年度が始まるときに、会報誌を作成してます。活動の概要やイベントに 関しましては、インスタグラムやLINEにて皆様にお知らせをしております。
^	35	個人情報に十分注意しているか	6		□個人情報が記載されたファイルは鍵のかかる部屋で管理しています。
の説明責任等	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	6		□視覚支援を取り入れ、見通しが持ちやすいよう工夫してます。 □言葉だけのコミュニケーションだけではなく、ジェスチャーや 紙に書くなど、それぞれに応じた対応を工夫しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っているか	4	2	□地域の皆さまにも参加していただけるイベントを開催しています。 □事業所の施設を地域の皆さま向けに貸し出しを行っています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に周知しているか	4	2	□マニュアルは回覧し、すぐに確認できる場所で保管をしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っているか	6		□年4回以上、避難訓練を行っています。 □避難リュックや備蓄品も用意しています。
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	4	2	□虐待防止委員会を設置し、ソーシャルワーカーなど適した職種が 主に研修に参加し、学んだ内容を職員へフィードバックしています。 □セルフチェックシートも行っております。
等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	□身体拘束適正化委員会を設置し、職員間で共通認識を図っています。 □計画に記載をするケースはいままでにありませんでしたが、 今後必要な状況に応じて、記載し、丁寧に説明を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされているか	5	1	□食事を提供するプログラムやイベントの際は、必ず保護者に 確認をしてから提供しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか	6		□ヒヤリハットは事業所で決められているフォーマットへ記入し、全体で 共有しています。共有後はファイリングし、すぐに見返すことができる 体制を取っています。